

令和5年

二十歳を祝う集い



二十歳を祝う集いの開催にあたって

この度は私たちのために盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございました。令和4年度より成人年齢が18歳に引き下げとなり、ときがわ町の式典も「成人式」から「二十歳を祝う集い」へと名称が変わりました。一足早く成人を迎えた私たちも新たな名称で開催される式典に参加できたと大変嬉しく思っております。

思い返せば、ときがわ町で過ごしたたくさんの日々は、毎日の通学路、内装木質化された学校など常に自然と共にありました。そして私たちを見守ってくださるたくさんの方々を支えられながら成長してきました。

私たちをごくまで育ててくれた家族、優しく見守ってくださった地域の方々、導いてくださった先生方、そしてこの豊かな自然の中で当たり前のように過ごすことができた故郷への感謝の気持ちを忘れず、これからも日々精進してまいりたいと思います。

二十歳を祝う集い実行委員 齊藤伶奈

【日時】令和5年1月8日(日) 10時30分～11時20分

【場所】ときがわ町文化センター(アスパ)アたまがわ

【参加者】81名(玉川中卒42名、都幾川中卒36名、町外卒3名)

※二十歳を祝う集いは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を十分に講じたうえで開催しています。また、写真撮影時のみ、マスクを外しています。

お礼の言葉

本日はこのような素晴らしい会を催していただき、誠にありがとうございます。今年度から名称が変わったこの「二十歳を祝う集い」を開催するために準備して下さった関係者の方々、ご臨席賜りました皆様、そして温かい激励のお言葉をいただきました。渡邊町長をはじめご来賓の方々にも心よりお礼申し上げます。

中学校卒業から約5年、地元ときがわ町を離れた人、そうでない人、進学した人、社会に出た人、それぞれの道の中で様々な体験を経て、今日ここに笑顔で集まれたことを大変嬉しく思います。

5年のうちの半分以上をコロナ禍で過ごし、以前とは異なる生活を余儀なくされました。高校では体育祭、文化祭などのイベントが中止になるなど、失ったものもありましたが、少しずつその環境にも適応し、新しい生活を過ごす中で、私にとって大きな発見もありました。

高校を卒業した後も外出が制限され、大学もオンラインで授業を行うことになり、多くの時間を自宅で過ごしていました。以前は自分が住む町に対しての関心が薄く、どんなところなのか深く知ろうとはしていませんでした。そのころから町内の色々な所に行ってみようになり、たくさんの方々の自然や美しい景色、場所、そしてそれらを大切にしている町の人々を知るようになりました。

また、高校や大学で色々な場所から集まった人々と関わって自分の中の世界が広がり、私たちが小学校や中学校の授業で体験してきた、川の美しい流れ、天然リンクのスケート場、自然を守る活動の数々が思い出され、私たちの育った町の豊かさが当たり前でなく、どんなに素晴らしい場所かを再認識しました。

これらを通じて、私たちがこれまでどれほど、家族や先生、周囲の皆様に温かく育まれてきたか気づくことが出来ました。

二十歳を迎えてもまだまだ未熟な私たちですが、皆様のお力添えをいただきながら成長していきたいと思っております。

簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

二十歳を祝う集い実行委員 桶谷美縁

